「子供が管理」大丈夫？

学校・保護者 懸念の声

スマホ指針案

大阪府教育庁は、18日に示した公立小中学校でスマートフォン(スマホ)の持ち込みを認めるガイドライン(指針)の案で、学校での管理は「子供が行う」とした。学校現場や保護者からは、「管理できず混乱するのではないか」「スマホを持ちながら子が増える」という懸念の声が上がった。

家での使いの方言及評価も

ガイドラインでは、緊急時を除きスマホを登下校時や校内では使わず、かばんに入れての明記。校内での管理については「原則、児童生徒自身に行わせる」とした。同庁は「子供に管理させず学校が預かると市町村教委が判断した場合、個別で相談に応じる」と説明するが、現在のルールを変更することを余儀なくされるケースも出そうだ。

都道府県と政令市の計67教育委員会に学校でのスマホの取り扱いを取材したところ、大阪府以外に小中学校へのスマホの持ち込みを認める動きはなかった。北海道教委は、昨年9月の北海道地震で電話が不通でもメールは届いたことなどから、緊急時の連絡手段としての有効性は認識するが、犯罪に巻き込まれるきっかけとなることも多いと指摘し、「大阪の例など広く情報を集め、慎重に検討したい」。滋賀県教委は「メリット以上に日常学習などへの悪影響が大きい」として持ち込みを認める考えはないという。

広島など 高校見直しの動き

広島県教委は、昨年9月の北広島地震で電話が不通でもメールは届いたことなどから、緊急時の連絡手段としての有効性は認識するが、犯罪に巻き込まれるきっかけとなることも多いと指摘し、「大阪の例など広く情報を集め、慎重に検討したい」。滋賀県教委は「メリット以上に日常学習などへの悪影響が大きい」として持ち込みを認める考えはないという。

子どもに携帯やスマホを持たせるなら、家庭でのルール作りはマスト(義務)です。それが親の責任だと思います。3/2(土)のPTA総会後の講演会にご参加下さい。「～知らなかったでは済まされない～スマホの向こうの子どもの世界」というお話です。きっと参考になるでしょう。

現場の疑問に答えず
竹内和雄・兵庫県立大准教授(生徒指導論)の話「持ってこさせた上でマナー教育をする姿勢は実践的で評価できるが、『校内ではかばんにしまう』ということでは、授業中の使用、盗難など様々なトラブルを防ぐことはできない。高価なスマホをどうやって管理すればよいかという、現場の一番の疑問に答えておらず、不十分だ」
子供は我慢できない
教育評論家の尾木直樹さんの話「定められた時以外に使わないよう呼びかけても、子供は我慢できない。SNSのトラブルが増え、いじめを生む懸念もある。保護者や子供、教員といった現場の声を聞いて、ガイドラインを作ったのか疑問だ」

ひがしなら通心

校長室から (H30年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 55

平成31年2月22日(金)発行

ある新聞記事より ~読売新聞2/19(火)朝刊~
保護者のみなさまは、どうお考えですか・・・。

学校でスマホ 緊急時OK

大阪府 小中解禁へ指針案

- 大阪府教育庁のガイドラインのポイント
- スマホや携帯は、災害などで学校が許可した場合や、登下校中の緊急時のみ使用できる
 - 登下校中や校内ではかばんの中に入れ、子供が管理する
 - 勝手に取り出したり使ったりした場合は、教員が預かり、保護者に返却する
 - 緊急時を除き、保護者は子供のスマホに連絡しない
 - 学校はスマホなどの適切な使い方を指導する

ガイドラインでは、これまでの校内持ち込み禁止の方針を見直し、災害などで学校が許可した場合や登下校中の緊急時には使えると明記。さらに、▽緊急時以外のかばんに入れ、使用し

日頃はかばんに保管

大阪府教育庁は18日、公立小中学校で児童、生徒のスマートフォン(スマホ)や携帯電話の持ち込みを認めるガイドライン(指針)の案を、各市町村の教育委員会に示した。緊急時の連絡手段としてのみ使用を許可する。文部科学省は持ち込みを「原則禁止」としており、都道府県、政令市レベルで認めるのは初めて。△関連記事35面▽

ない▽管理は子供が行う▽ルールに従わない場合は学校が預かり、保護者に返す▽学校が適切な使用方法を指導する」などとした。実際に持ち込みを許可するかや、実施時期は市町村教委に判断を委ねる。3月下旬頃、正式なガイドラインを政令市の大阪、堺両市も含む各教委に通知する。登校時間帯に発生した昨年6月の大阪北部地震の後、保護者から持ち込みを求める声が寄せられ、府教育庁は同10月、2019年度から持ち込みを認める方針に転換した。その理由としてガイドラインでは、多くの小中学校で既に、保護者から要請があれば特別と

文部科学省も、平成21年に出した通知「小中学校は、児童生徒の携帯電話の持ち込みについては、原則禁止」から、大阪府に追随する形で検討を始めるそうです。現場はどうなるのでしょうか・・・？

して許可している現状も挙げた。スマホを持たせるかどうかは「保護者が判断するもの。推奨も否定もしない」とした。府教育庁小中学校課の榎田千佳課長は「府教育庁としての考え方を示した。各市町村で、実情に合わせた運用方法を検討してほしい」と話している。文部科学省は「災害を踏まえて丁寧に検討したのであれば、問題はない。地域への広がり次第では、小中学校への持ち込みを原則禁止とした通知の見直しも検討したい」とした。